

光丘高等学校令和4年度 教科 芸術 科目「書道Ⅱ」 年間授業計画

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅱ 単位数： 2単位

対象学年組： 第2学年1組～6組

教科担当者： (1組～6組：赤嶺)

使用教科書： (書道2 光村図書)

使用教材： (ペン習字の基礎 教育図書)

	指導内容	科目「書道Ⅱ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・用具の確認と手入れ ・仮名「高野切」から、短冊の制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の授業の流れや単位の修得について理解する。 ・書道の用具を確認する。 ・仮名古筆「高野切」の端正な字形と流れの美しさを味わい、短冊に臨書して学ぶ。 	<p>課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評価する。</p>	4
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名 和歌を半横紙に散らし書き ・仮名 百人一首を色紙または扇面に散らし書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・半横紙を使用し、美しい料紙に連続や墨継ぎ・仮名の組み合わせなどさまざまに表現することを楽しむ ・散らし書きによる空間の美しさを味わい、百人一首を題材にして仮名作品を創作する 	<p>課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評価する。</p>	8
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆書写検定過去問題への挑戦 ・硬筆テキスト「行書の学習」 	<ul style="list-style-type: none"> ・書写検定問題3級より、速記・縦書き・横書き問題に挑戦し、自分の書写力を確認し問題点を探る。 ・硬筆文具の特性を生かし、一字でも多くの正しい行書体が身につけられるよう学習する。 	<p>課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評価する。</p>	8
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆テキスト「行書の学習」 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から引き続き、正しい行書体を身につけられるよう、また字形を整えて書くことができるように学習する。 	<p>課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評価する。</p>	4

	指導内容	科目「書道Ⅱ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月				
9 月	・硬筆テキスト「ひらがな」「カタカナ」 「漢字仮名交じり文」の学習	・硬筆筆写に慣れ、ひらがな・カタカナを含め、正しい筆順で文字を整えて書 写する技術を習得できるよう修練し、技能向上を目指す。	課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評 価する。	8
10 月	・テン書「石鼓文」「テン書崔子玉座右銘四 へい」臨書	・テン書の用筆・文字の形に親しみ、多彩な表情を捉える。 ・字形や書風の違いを捉え、大テンや小テンを臨書してテン書の世界を味わ い学習する。	課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評 価する。	8
11 月	・隸書「乙瑛碑」「居延漢簡」臨書	・隸書の用筆・文字の形に親しみ、多彩な表情を捉える。 ・字形や書風の違いを捉え、作品の特徴を生かして臨書し、隸書の世界を味わ い学習する。	課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評 価する。	8

	指導内容	科目「書道Ⅱ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	・テン書・隸書 「十二支」を書く	・さまざまな大きさの紙を使用し、テン書体・隸書体から好きな字形を選び、特徴に即した運筆を工夫して十二支を書いて楽しむ。	課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評価する。	4
1月	・草書「十七帖」「真草千字文」臨書	・草書の用筆・文字の形に親しみ、多彩な表情を捉える。 ・省略のしかたの原則を踏まえ、やわらかさと緩急を意識しながら書風の違いを捉えて臨書し、草書の世界を味わい学習する。	課題の作品提出と、 日常の取り組みを総合的に評価する。	8
2月	・漢字仮名交じりの書の創作	・これまでに学習したさまざまな書体と筆法を使用し、日常生活の中で親しんでいる言葉や風景を、書で表現して楽しむ。	課題の作品提出と、日常の取り組みを総合的に評価する。	8
3月	一年間のまとめ	・自らの一年間を振り返る	課題の作品提出と、日常の取り組みを総合的に評価する。	4